

四年に一度、

巨大な龍蛇りゅうだが練り歩く

8月7日

すねおりあまごい

脚折雨乞

脚折雨乞のみどころ

脚折雨乞は、市を代表する民俗行事です。竹と麦わらで巨大な龍蛇を作り、それを担いで白鬚神社しろひげから雷電池かみぢがけまで練り歩きます。龍蛇は、神社を出発する前に宮司の入魂の儀により龍神となります。長さ36m、重さ約3tあり、約300人が担ぎます。ぜひ一度、巨大な龍蛇を見にきてください。

雷電池に到着し、龍神を池の中に入れると「雨降れたんじゃく、ここに懸かれ黒雲」と叫びながら勇壮に動き回ります。クライマックスでは担ぎ手全員で龍神を解体。頭部に付けられた金色の宝珠を、我先にと競い、奪い合う様は見る者を圧倒します。平成25年には「第17回ふるさとイベント大賞」で県内初の大賞(総務大臣表彰)を受賞し、日本一の行事となりました。



問合先
生涯学習スポーツ課
文化財担当
(☎049・285・2194)

「文化財展 ~脚折雨乞の変遷~」へんせん

写真とパネルで脚折雨乞の歴史がわかります

日時 7月27日(水)~8月7日(日)8時30分~17時15分(※市役所開庁時間に合わせて開催。雨乞い当日も開催)

場所 市役所1階ロビー

問合先 生涯学習スポーツ課文化財担当(☎049・285・2194)



脚折雨乞の詳細は市HPでお知らせしていきます。

あなたも「龍神」を担ぎませんか

脚折雨乞行事保存会では、龍神の担ぎ手を募集します。

対象 16歳以上の男性

定員 30人程度(抽選)

申込み 7月19日(火)までに生涯学習スポーツ課文化財担当(☎049・285・2194)へ

その他 当日貸し出す法被のクリーニング代として、500円が必要です。



一緒に雨乞いを盛り上げよう!

江戸から伝わる雨乞いの記録

脚折雨乞の起源は江戸時代にまで遡ります。明治時代の記録によると、「雷電池のほとりの脚折雷電社に雨乞いをする、必ず雨が降った。しかし寛永の頃、池を縮めて田を作ったため、元々池に棲んでいた大蛇は上州板倉(現在の群馬県)の雷電池に移ってしまい、雨が降らなくなってしまう。そこで板倉雷電神社で降雨祈願をして池の水を持ち帰ると、見事に雨が降り始めた。」とされています。

地域が支えた伝統と絆

脚折雨乞は、担い手の減少など社会環境の変化により、一度途絶えてしまいます。しかし、雨乞いの持つ地域の一体感を再認識した地元脚折地区住民が、昭和51年に脚折雨乞を復活させ、その後、4年に一度行うようになりました。

「脚折雨乞行事保存会」では、龍蛇制作のための講習会などによる「技」の伝承や、子どもたちが担ぐ「ミニ龍蛇」の作成など、後継者育成にも力を注いでいます。こうした取り組みにより、脚折雨乞は我が国の「雨乞い」を知るうえで貴重な行事と認められ、国選択無形民俗文化財に選択されています。

ミニ解説

ミニ龍蛇雨乞

地元の小学生が小さな龍蛇3体を担いで行う雨乞いです。

太鼓演奏

雷電池の周りで和太鼓演奏を行います。

当日スケジュール

- 13時00分 白鬚神社 出発
- 13時40分 善能寺休憩所 出発
- 14時15分 シルバー人材センター北休憩所 出発
- 14時40分 国道407号線手前休憩所 出発
- 15時00分 雷電社 到着
- 15時30分 龍神池入り
- 16時30分 龍神昇天(龍神解体)
- 17時00分 終了

ミニ龍蛇雨乞

- 13時00分 池の台自治会館前 出発
- 13時15分 雷電池 御神水献注、池入り
- 13時50分 終了

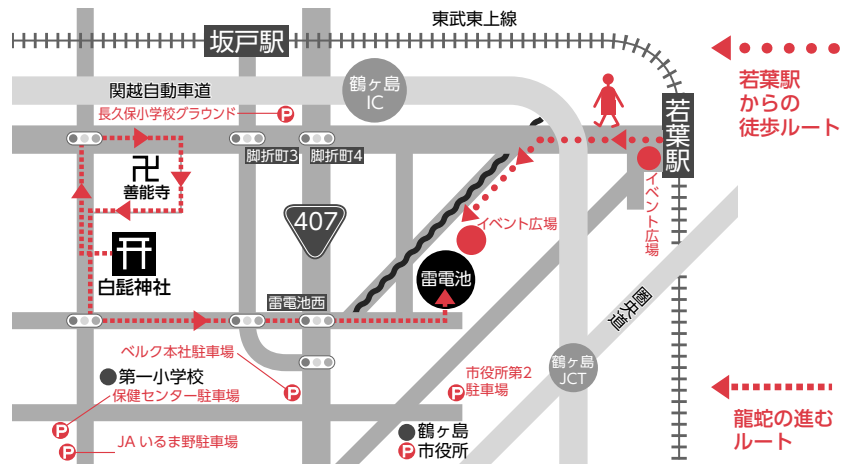
太鼓演奏

- 11時00分～16時30分(随時)
- 武蔵流龍神太鼓
- 鶴ヶ島清風高等学校和太鼓部

会場アクセス

公共交通機関でお越しの場合、若葉駅西口前の道路(共栄一本松線)を直進してください。

お車でお越しの場合、会場周辺企業にご協力いただき、駐車場が利用できますので地図内(P)を参考にしてください。



鶴ヶ島市国際交流フェア2016

日時 8月7日(日) 10:00~20:00
場所 若葉駅西口広場

脚折雨乞にあわせ、鶴ヶ島市国際交流フェア2016を開催します。世界各地の料理を堪能しながら音楽やダンスなど世界の文化に触れ、年齢、国籍を超えて楽しく盛り上がりましょう。

当日は160インチビジョンを設置し、脚折雨乞の生中継や龍蛇制作の状況、過去映像などを放映します。

イベント

- 10:00~国際交流ステージ
- 16:00~わかば結市ステージ

模擬店・活動展示

セネガル、パラグアイ、フィリピン、ブラジル、チリ、ペルー、ベトナム、韓国、ロシア、日本(内容等一部変更がある場合があります)

問合先 地域活動推進課地域活動推進担当



脚折雨乞オリジナルポロシャツを販売

金額(事前販売特別価格 8月6日まで)
1350円(SS~LL)、1500円(3L~5L)※税込
色・素材 紺色のメッシュ生地に白色プリント
デザイン 切り絵作家 百鬼丸さん
企画 鶴ヶ島産業観光まつり運営委員会事務局(産業振興課内)
申込・問合先 ANNEXサカエヤ ☎049・287・1711 FAX049・287・7311
詳細は市HPにて

